

科目名		日常生活援助学			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	作業療法士科2年	必修・選択	必修

〔授業の目的・ねらい〕

障がい者や高齢者への作業療法を実施するにあたり、その対象者の生活を理解するために必要な視点・知識を得る。

〔授業全体の内容の概要〕

障がい者や高齢者が安楽に生活できるための個人要因・環境要因を知り、その関係性を学ぶ。
日常生活動作の実際の評価方法について学ぶ。

〔講師の実務経験〕

〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕

日常生活について作業療法士として援助する上で、介入に向けた評価方法を選択することができる。

回数	講義内容
1	リハビリテーションにおける機能評価の意義
2	障害の分類法(ICD・ICIDH)
3	脳卒中における機能評価
4	日常生活動作とは
5	FIMについて
6	FIMについて
7	日常生活援助について
8	まとめ
	定期筆記試験

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
脳卒中の機能評価SIASとFIM基礎編		金原出版

【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

筆記試験